

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

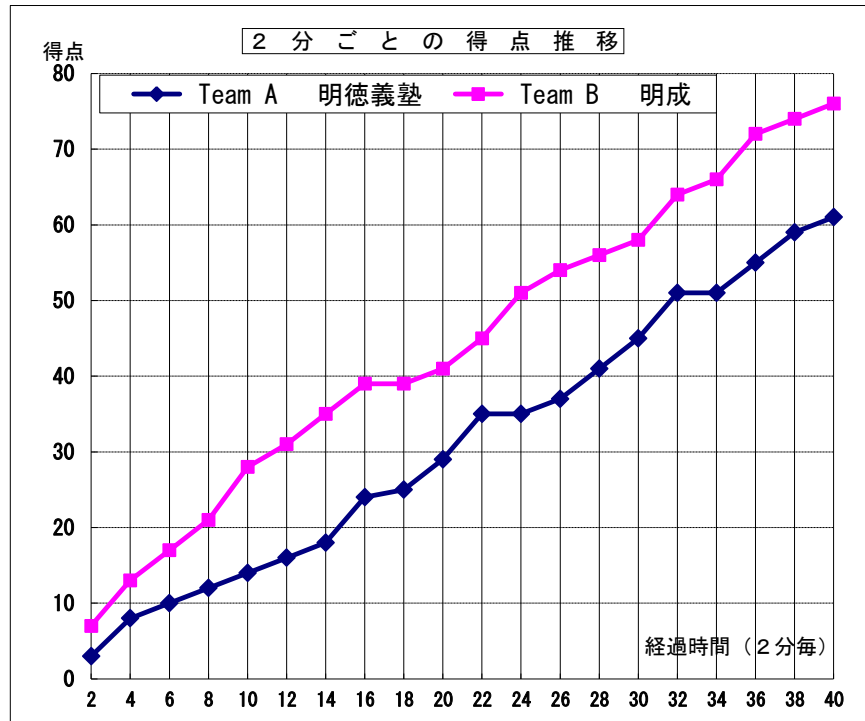
男子 4回戦

試合日	2013年8月1日
開始時間	10:00
会場	べっぴんアリーナ
コート	M
試合順	1

Team A		Team B
明徳義塾	61	76
高知県		宮城県

Team A 明徳義塾		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT	
No.	S		選手名	成功	試投	成功	試投	成功		試投	OR	DR						TOT
4	◎	奥野 友章	12	0	1	6	12	0	0	3	1	2	3	4	4	0	2	40:00
5	◎	堀家 和幸	18	0	0	8	14	2	2	0	2	0	2	4	1	1	4	40:00
6	◎	村山 龍之介	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	14:13
7		前田 聡司	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	10:34
8		盛島 ショーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	08:43
9		濱田 直希	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00:36
10		松井 風太	6	0	0	3	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	14:54
11		武藤 優太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00
12	◎	秀島 嶺次	2	0	0	1	5	0	0	4	1	1	2	1	0	2	2	25:20
13		永田 祐也	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	05:40
14	◎	AYUEN PETER MAJOK	23	2	4	8	22	1	2	3	4	15	19	3	1	4	1	40:00
15		濱田 雷斗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00
Team / Coach:		瀬田 幸穂								0	0	4	4					2
合計			61	2	7	26	59	3	4	13	8	23	31	13	7	9	12	200
RATE				28.6%		44.1%		75.0%										

Team B 明成		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT	
No.	S		選手名	成功	試投	成功	試投	成功		試投	OR	DR						TOT
4	◎	金子 大希	8	0	3	4	4	0	0	0	1	1	3	1	3	1	34:31	
5		阿部 元樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00	
6	◎	植村 哲也	17	1	4	7	19	0	0	2	1	0	1	4	0	1	3	35:47
7		森川 文弥	9	0	0	3	5	3	4	1	1	3	4	1	1	1	1	15:00
8		納見 悠仁	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	02:51
9		築井 良知	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	07:15
10	◎	白戸 大聖	14	2	6	4	6	0	1	1	0	3	3	3	0	1	0	28:21
11	◎	宮本 滉希	12	0	0	4	8	4	5	2	4	7	11	2	2	2	3	39:23
12		柳川 知之	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	00:37
13		松本 健寛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	03:30
14	◎	八村 塁	14	0	0	7	12	0	1	2	1	4	5	0	2	1	2	32:45
15		三上 侑希	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00
Team / Coach:		佐藤 久夫								0	3	7	10					0
合計			76	3	13	30	56	7	11	8	10	28	38	14	7	10	11	200
RATE				23.1%		53.6%		63.6%										



CTO	1・2P	3・4P	OT 1	OT 2	OT 3	OT 4
TeamA	04:58	16:15	23:26	33:12	39:24	
TeamB						

戦評

第1ピリオド、互いにマンツーマンDefで始まる。明成は#10を中心に得点を重ねるのに対して、明徳義塾は#14を中心に得点を取り対抗する。2分過ぎに、明成は連続スティールから#6が得点を重ね、流れを掴む。明徳義塾は#14の3Pで対抗するも、連続ターンオーバーで失点し、8-17となり、明徳義塾は堪らずタイムアウトを取る。その後、明徳義塾は3-2ゾーンに変更するも流れを変えることは出来ず、逆に明成に加点されて14-28と14点差にされて第1ピリオドを終える。第2ピリオドも互いにマンツーマンで始まる。明徳義塾は#5のドライブを中心に得点を重ねるのに対し、明成は#6を中心に得点する。互いに流れを掴めず、残り3分45秒に明徳義塾は2回目のタイムアウトを取る。その後、明徳義塾の#14のゴール下シュートで加点し、29-41の12点差で前半終了。第3ピリオド、明徳義塾は#14にボールを集め加点するも、明成が#10の連続得点で14点差に戻した残り6分34秒に明徳義塾は後半1回目のタイムアウトを取る。しかし、逆に明成が流れを掴み19点差までする。しかし、残り3分から明徳義塾は#4・#5を中心に得点を重ね、45-58の13点差で終わる。第4ピリオド、明徳義塾は1-2-2のゾーンプレスを仕掛けミスを誘い得点するも、明成は#14のゴール下や#6のミドルシュートで加点していく。明徳義塾は残り6分48秒に2回目のタイムアウトを取って、立て直しを図ろうとするも、流れを変えることは出来ないうまま61-76の15点差で試合は終了する。第1ピリオドの得点差を最後まで上手くキープした形で明成が勝利を収めた。

主審	安西 郷史	副審	稲葉 威	戦評	齋藤 哲也
----	-------	----	------	----	-------